

せいらんそう

社会福祉法人
芳香会誌
第32号
2016年5月発行



養護老人ホーム、穏やかなひととき♪

もくじ CONTENTS

“ふくしを知ろう！”
“ふくしに触れよう！”

・・・ 2

新任職員紹介

・・・ 3

高齢福祉施設トピックス

・・・ 4



ダイバーシティと
インクルージョン
今、私たちができる事
・・・ 5

芳香会活動報告 ・・・ 6
芳香会スケジュール ・・・ 6
編集後記 ・・・ 6

2011年3月11日に発生した東日本大震災において被災された皆様に、改めて心よりお見舞い申し上げますとともに、当法人も引き続き復興に向けた支援活動に取り組んでまいります。

春休みワークセミナー2016

「ふくしの仕事 ～見る・触れる・知る～」

【プログラム】

開会

- ①職種別講話
- ②リハビリ機器・ロボット&業務機器展
- ③施設紹介DVD上映
- 昼食
- ④施設見学会

“ふくし”を知ろう！
“ふくし”に触れよう！

社会福祉法人芳香会では、地域の高校生を対象として、『春休みワークセミナー』を開催しました。初めての試みでしたが、おかげ様で大盛況でした。

平成二十八年三月二十日（日）、四月二日（土）の二日間で『春休みワークセミナー2016』を開催しました。

初めての試みのワークセミナーですが、「福祉についての理解を深める」、「進路や職業選択の一助となる」という二点を目標として掲げました。茨城県西地区の六つの高校に直接出向き、進路指導の先生方等へ説明を行い、二日間で五校四十八名の方に参加して頂きました。

【職種別講話】

福祉施設で働く福祉医療職「看護師」「介護福祉士」「管理栄養士」「理学・作業療法士」「社会福祉士」による業務説明や仕事の魅力、やりがいについてお話しをしました。参加者の中には希望する職種が決まっている生徒さんも多くおり、「今まで以上に興味を持つことができた」等の感想をいただきました。一方で、「福祉に初めて興味を持った」や「希望する職種以外の理解を深めることができた」との回答も寄せられました。

【リハビリ機器・ロボット&業務機器展】



当法人では三年前よりメンタルコミットロボット『パロ』やヒューマノイドロボット『パルロ』など、各施設で活躍しているロボットの紹介をしました。また、ルンバ等の掃除ロボットについて導入経過も含めた説明を行いました。中でも特に好評だったのが、アビリティーズ・ケアネット株式会社の石塚様にお持ち頂いた『バランスストレナーロー』と『セラバイタル ティーゴ』でした。この二つはゲーム感覚でリハビリを行うことが出来る機器で、参加者が時には競い合いながら、笑顔で体験している姿が非常に印象的でした。リハビリという大変なイメージを持ちがちですが、いかに楽しみながら取り組むことが



出来るかを、実演も交えてご紹介頂きました。将来はこのような機器に囲まれた仕事をしていくことや、生活の中で共存していく事が必要な時代が到来することを感じとって貰えたら幸いです。

今回は春休み期間中に開催したワークセミナーでしたが、予想以上のお申し込みをいただきました。高校生には進路選択のヒントとして自分にはどのような職業が適しているかを考えること、福祉に対する理解を深めることができたのではないかと考えております。いつの日かセミナーの参加された方と一緒に仕事をし、更にその方達が次代の担い手を育成できるようなサイクルが生まれる事を願っています。

【青嵐荘療護園 相談支援員 高橋健太】



新任職員紹介

今年度、社会福祉法人芳香会では総勢十七名の新任職員を迎えました。代表の七名に「今後の抱負や意気込み」を語って貰いました。

【牛ヶ谷保育園 保育士 長濱沙也伽】

幼少期の頃、園という場所は、先生がどんな時でも笑顔で接してくれ、家庭のように安心して過ごせる場所でした。「子どもがのびのびと、安心安全に生活できる環境を作れる保育士になりたい」と考えたきっかけです。子どもの目線に立ち、長所である笑顔を生かしながらかかわっていききたいです。先輩方のように責任感のある立派な保育士を目指し、日々成長したいと思っています。



【青嵐荘路のとう舎 生活支援員 箱守祐子】

私の目標は、ご利用者一人一人の個性を大切に、生き生きとした生活が送れるよう支援する事です。まずはご利用者の顔と名前をしっかり覚え、少しずつ特性を把握していききたいです。今は覚える事がたくさんありますが、先輩方のご指導を受けながら、日々、知識や技術の向上に励んでいきたいと思っています。



【青嵐荘特別養護老人ホーム 介護員 富澤美月】

介護員 富澤美月

三月に誕生日を迎え二十歳となり、四月には社会人となりました。社会に出て働くのは初めてであり、楽しみな半面、不安も大きいですが、しかし、ここまで支えて頂いた周りの方々への恩返しをしながら、素敵な大人になれるよう全力で頑張りたいと思っています。ご利用者やご家族、共に働く職員から「この人と出会えてよかった」と思っ頂けるように、人としても介護士としても成長していくことが今の目標です。



【青嵐荘療護園 生活支援員 原田莉奈】

私の目標は、ご利用者が笑顔で充実した毎日を送って頂けるよう支援を行う事です。施設の一日の流れや業務内容を理解し、先輩方のご指導のもと、必要な知識・技術を、実践を通して一日でも早く身に付けたいです。ご利用者一人一人と誠実に向き合う事で、ご家族、先輩方からも信頼して頂ける生活支援員となるべく、常に笑顔を忘れずに頑張りたいと思います。



【芳香会病院青嵐荘療育園 准看護学生 小川理子】

准看護学校に通いながら芳香会病院青嵐荘療育園で働かせて頂くことになりました。学業と仕事の両立は不安ですが、一日でも早く業務を覚えられよう頑張りたいです。また、社会との関わりの中で一定の責任を持つて行動し、何事にも一生懸命に取り組む事で自分

自身が向上していけると思っています。信頼される人になれるよう、感謝の気持ちを忘れず努力していきたいと思っています。

【芳香会病院青嵐荘療育園 理学療法士 森綾香】

学生の頃から思い描いていた理学療法士像は、各スタッフとの情報交換を入念に行い、ご利用者の全体像を明確に把握した上で機能維持・向上を目指し、さらにご家族のケアも含めたりハビリテーションを提供する事です。

まだまだ至らない点も多いかと思いますが、ご利用者やご家族が笑顔で生活していけるよう、入居のニーズに対応したりハビリテーションを提供したいと思っています。



【青嵐荘つくし園 相談支援員 倉持圭亮】

人の為になる仕事がいっぱいあるから福祉の道を志し、相談支援によって人を支えるソーシャルワーカーを目指しました。

ご利用者と関わる機会が多くなり、新たな発見の連続で新鮮な毎日です。

この気持ちを忘れる事なく、いつまでもご利用者やご家族に近い存在であり続ける事が、現在の私の目標です。誰からも信頼される相談支援員を目指して頑張っていきたいと思っています。



高齢福祉施設トピックス

高校生と真剣勝負！

青嵐荘ケア・アシスタンス

青嵐荘ケア・アシスタンスでは、平成二十八年一月五日（火）に通所リハビリテーションに『茨城県立古河第三高等学校将棋部』の生徒四名、顧問の先生一名にボランティアに来荘いただきました。



男性ご利用者の「将棋を指したい」という声をきっかけに、職員の紹介でボランティアが実現しました。

当日は高校生とご利用者による将棋の真剣勝負で冬の寒さを吹き飛ばすような熱気が会場を包みましました。また、ふれあい囲碁の団体戦も行い「そこだ！」「そこじゃないよ！」など、応援する声も飛び交い、たくさんの方々の笑顔が溢れるとても楽しい時間を過ごすことができました。

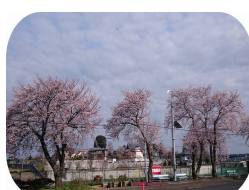


高校生も最初は戸惑っていましたが、ご利用者との勝負や触れ合いの中で徐々に打ち解け、手作りお菓子を食べながら会話も弾みました。高齢者と接する機会が少ない高校生も、ご利用者の将棋の強さに驚き、尊敬の念を抱いたようでした。また、女性ご利用者も孫のような高校生との交流にいつもより更に笑顔が増え「若返ったわ」「また来てほしいね」といった声が聞かれました。

今後とも男性ご利用者の活躍の場を増やし、また高校生をはじめ地元の方々との触れ合いの機会を設け、ご利用者の声を反映させて頂きながら、更に充実した余暇活動にしていきたいと思っています。

春爛漫「さくら祭り」

青嵐荘養護老人ホーム



青嵐荘養護老人ホームでは、四月三日に恒例の交流会「さくら祭り」を地元老人会「七五三場楽寿会」の皆さんと開催致しました。

敷地内に咲く桜は、春という穏やかな季節と新たな年度が始まったことを感じさせてくれます。満開の桜が穏やかな陽光に照らされた様子を眺めながら、「今年も立派に咲いたなあ」と感心した声があちらこちらで挙がっております。毎年、素敵な春を感じさせてくれる桜にも感謝です。

交流会では昨年から徐々に浸透してきているふれあい囲碁の対局や脳トレクイズ、カラオケなどで盛り上がりました。交流会を重ねてくると入所者の方々も楽寿会の方と顔見知りが増えてきているようです。桜を眺めながら、囲碁の対局をしながら世間話や互いの近況について話をされている様子に職員としてうれしさを感じます。

昔はゲートボールなどで楽寿会の皆さんと交流をされていたと伺ったことがあります。



高齢になり身体を動かす交流は難しくなりつつある方も増えてきているという現状もあります。が、地域の方々とお互いの顔が見える、ふれあえる交流をする機会は今後も大切にしていきたいと思っています。

笑顔が広がるように

青嵐荘特別養護老人ホーム

青嵐荘特別養護老人ホームは、ご利用者が安心して生活できることを第一とし、ご家族が安心して働くこと、子育てが行える等、介護の負担や悩みを少しでも軽減できることを念頭に日々業務を行っております。しかし、実際に入所されるご利用者の本音の多くは「家での生活」を望んでいるようです。そのような中、試行錯誤しながら少しでもホームの生活に満足して頂けるよう努力しております。

写真のご利用者Aさんは皆様にはどのように映っているでしょうか。猫が大好きとお聞きした中で、猫の簡易ロボットをお渡ししました。Aさんはそれを大事に抱え、頬を寄せ、話しかけるなど色々な表情を見せてくださいました。猫好きのAさんの精神安定を図ろうと始めたことですが、Aさんの笑顔がどんどん増えていきました。そして、そのような“二人”を見て、周りのご利用者も笑顔になっていきます。



当ホームの存在意義は、ご利用者とご家族はもちろんのこと、職員一人一人の笑顔を作り出し、同時にその笑顔を地域に広げることであると考えています。

ダイバーシティとインクルージョン 今、私たちができる事



芳香会では、本格化しつつある人口減社会の中でも事業を継続できるように、雇用の拡大を図っています。その一つが、高齢者の雇用、外国籍の方の雇用、そして障害を持った方の雇用です。今回はその中でも障害を持った方々の雇用への取り組みと、障害を持った方々の活動を支える新たな拠点についてご紹介します。

☆県知事賞 受賞☆

青嵐荘つくし園 杉野副主任相談支援員

平成二十七年十一月二十六日に茨城県庁にて「平成二十七年障害者雇用優良事業所及び優秀勤労障害者表彰式」が開催されました。



表彰式には、障害者雇用に積極的に取り組む五つの事業所と優良勤労障害者の方が出席し、県知事賞を受賞しました。

芳香会では、平成二十六年から「雇用障害者推進委員会」を発足し、各事業所に担当者を配置し、障害を持った方々にも働きやすい環境を整えております。また、障害者技能大会にも参加し、日々の業務の質の向上を図っております。今回は、そのような取り組みが外部から評価され、得られた受賞なのだと思います。

そして、私たちが目指しているのは「すべての職員が働きやすい職場」です。この受賞を糧に、一層誰もが働きやすい職場を目指して努力していききたいと思います。

新しい仲間、加わる

青嵐荘療護園 高橋副主任相談支援員

芳香会では、平成二十八年度も多くの新任職員を迎えました。そして、二人の障害を持った方も、新任職員として私たちの仲間に加わりました。



鈴木生活支援員は青嵐荘療護園、大谷介助員は青嵐荘ケア・アシスタンスにそれぞれ配属となりました。二人とも茨城県立境特別支援学校の出身で、在学中に従事した職業実習の受入れ先となった事が最初の出会でした。現在、二人は館内や敷地内の清掃など、ご利用者の生活するスペースの環境整備を主に担当しています。礼儀正しく、誰とでも笑顔で接する事が出来る二人です。真面目に仕事に取り組む姿勢はご利用者からも大変好評です。

他の新任職員同様、社会人としての基礎を作りながら、一つずつ仕事の手順を覚えていく作業は決して簡単ではありませんが、先輩職員の姿を見本としながら頑張っています。

二人を始めとして、各事業所に配属になった新任職員に、どうぞ温かいご声援をお願いいたします。

新拠点をめざして

青嵐荘つくし園 坂本副主任相談支援員

青嵐荘つくし園では、障害をもった方の地域生活を支える地域福祉の拠点、そして地域交流・活動の場所として『多目的ホール』の準備を進めています。

現在、当事業所では皆さまのニーズに応えるべく生活介護事業所として、音楽や体操等の全活動、リハビリや創作等の様々な個別支援を提供してまいりました。しかし、利用を希望される方が増えている一方で、活動スペースの確保が難しくニーズへの十分な対応ができず課題となっておりました。多目的ホールの新設により、それらの課題が解消されます。多目的ホールでは、活動をさらに充実化させ、ご利用者個々人のニーズへ対応する生活介護サービスを提供するとともに、地域の皆さまの活動や集会等の交流を行うスペースとして活用いただき皆様が集まれる場所としていくことを目標としております。敷地の整備、地鎮祭が終了し、五月にはいよいよ着工となります。完成後たくさんの方にご来園いただくことを心待ちにしております。

地鎮祭の様子



芳香会活動報告



女性活躍推進法

多様な働き方に向けて

女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現する為、国、地方公共団体、民間事業主の各主体の女性の活躍推進に関する責務等を定めた女性活躍推進法が新たに公布されました。この法律に基づき芳香会では女性が管理職として活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定しました。

◆計画期間◆

平成二十八年四月一日 ～

平成三十二年三月三十一日

◆目標◆

管理職（課長級以上）に占める女性割合を四十%以上にする。

◆取組内容◆

- ① 育児休業取得者に向けて職員へのライフワークバランスの指導を強化する。
- ② 人事評価基準について見直しを図る。
- ③ 女性職員を対象として管理職育成を目的としたキャリア研修を実施する。



策定した行動計画を遂行出来るよう芳香会職員一丸となって頑張ります。

芳香会女性活躍推進法 公開データ（抜粋）

※詳細は芳香会ホームページにて公表しております。

採用した労働者に占める女性労働者の割合		正社員	非正社員
直近事業年度の女性の採用者数	(A)	21	25
直近事業年度の採用者数	(B)	27	36
採用した労働者に占める女性労働者の割合	(A/B)	77.8%	69.4%

管理職に占める女性労働者の割合		全体
女性の管理職数	(A)	6
管理職数	(B)	18
管理職に占める女性労働者の割合	(A/B)	33.3%



芳香会スケジュール

五月	十日	法人内ヒアリング
五月	十四日	監事ヒアリング
五月	二十一日	理事・評議員会
五月	二十四日	芳香会移動献血事業 (上大野地区)
五月	二十六日	芳香会移動献血事業 (結城尾崎地区)
五月	三十日	辞令交付式
五月	下旬	福利厚生企画 抽選クジ
六月	下旬	社用車実務研修会

編集後記

今年の桜は見ごたえがあり、とても癒されました。当法人では、四十五周年の記念に、昨年度末地元元の公園に【はな桃】の樹木を市の担当者に植樹して貰いました。もちろん有料ですが、維持管理も市で行ってくれるので、五年間今後の育ちを皆で観察して行きま

す。(光)

今年度より会報誌作成委員を拝命致しました。身内ながらに、発行を心待ちにしていた会報誌。発信する側の立場となり、身の引き締まる思いです。分かりやすく、楽しい紙面作りを心掛けたいと思います。(賢)

一億総活躍社会に向け女性活躍推進法が公布されました。朝ドラヒロインのような女性がこれから世に輩出される事と思います、私も負けじと頑張りたいと思います。目指せ、迷脇役？(織)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。